

大学等名	帝塚山大学
プログラム名	データサイエンス・リテラシープログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

「特別講義データサイエンス入門(2単位)」 「統計・情報E(データサイエンス入門)(2単位)」の単位を取得すること

必要最低単位数 2 単位 履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
特別講義(データサイエンス入門)	2	○	○	○					
統計・情報E(データサイエンス入門)	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
特別講義(データサイエンス入門)	2	○	○	○					
統計・情報E(データサイエンス入門)	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
特別講義(データサイエンス入門)	2	○	○	○					
統計・情報E(データサイエンス入門)	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
特別講義(データサイエンス入門)	2	○	○	○					
統計・情報E(データサイエンス入門)	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
特別講義(データサイエンス入門)	2	○	○	○	○						
統計・情報E(データサイエンス入門)	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 【特別講義(データサイエンス入門)】(1回目)(2回目) →ビッグデータ、IoT、AI、ロボット→データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化 【特別講義(データサイエンス入門)】(4回目) →第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 →データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方 【特別講義(データサイエンス入門)】(2回目) →推定技術を組み合わせたAIサービス→人間の知的活動とAIの関係性 統計・情報E(データサイエンス入門) (1回目)(2回目)(6回目) ビッグデータ、Society 5.0、AIの脅威の発達、人間の知的活動とAI
	1-6 【特別講義(データサイエンス入門)】(4回目) →AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) 【特別講義(データサイエンス入門)】(6回目) →AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など) 統計・情報E(データサイエンス入門) (6回目) AI等を活用した新しいビジネスモデル、AI最新技術の活用例
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 【特別講義(データサイエンス入門)】(2回目) →調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど →1次データ、2次データ、データのメタ化 →構造化データ、非構造化データ(文章、画像、動画、音声/音楽など) →データ作成(ビッグデータとイメージ) →データのオープン化(オープンデータ) 統計・情報E(データサイエンス入門) (2回目) データの種類、データの所有者、構造化データと非構造化データ
	1-3 【特別講義(データサイエンス入門)】(4回目) →データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など) →研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど →仮説検証・知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など 統計・情報E(データサイエンス入門) (3回目) 事業活動におけるデータ・AIの広がり、活用目的ごとのデータ・AI活用の広がり
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 【特別講義(データサイエンス入門)】(4回目) →データ解析・予測、グルーピング・パターン発見、最適化・シミュレーション・データ同化など、→認識技術、ルールベース、自動化技術 【特別講義(データサイエンス入門)】(5回目) →非構造化データ処理、言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など →特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ 【特別講義(データサイエンス入門)】(9回目) →データ可視化・複合グラフ・2軸グラフ・多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など 統計・情報E(データサイエンス入門) (4回目)(6回目) 誰もが無意識にデータを解析して生きている、さまざまなデータ解析: 予測・グルーピングとクラスタリング・発見、データ解析の関連話題、非構造化データ処理、データ可視化、パターン認識技術、人工知能
	1-5 【特別講義(データサイエンス入門)】(5回目) →データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案) 【特別講義(データサイエンス入門)】(7回目) →流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介 統計・情報E(データサイエンス入門) (5回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、データ分析・自動化の実際、組織的考慮点

(4) 活用に応じた様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	【特別講義(データサイエンス入門)】(14回目) → ELSI(Ethical, Legal and Social Issues) → 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト → データ倫理: データの持つ意、改ざん、盗用、プライバシー保護 → AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) → データバイアス・アルゴリズムバイアス → AIサービスの責任論・データAI活用における負の事例紹介 統計・情報E(データサイエンス入門) (13回目) ELSI、一般データ保護規則(GDPR)、十分性認定、AI倫理、AI脅威論、ブラックボックス化、説明可能性、アカウントビリティ・透明性・トラスト、公平性、データ・AI活用における負の事例紹介
	3-2	【特別講義(データサイエンス入門)】(14回目) → 情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性 → 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報採取 → 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介 統計・情報E(データサイエンス入門) (14回目) データサイエンスにおけるセキュリティとプライバシー、データサイエンスと情報セキュリティ、データサイエンスとプライバシー
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	【特別講義(データサイエンス入門)】(9回目) → データの種類(量的変数、質的変数)・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い) 【特別講義(データサイエンス入門)】(11回目) → データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)・観測データに含まれる誤差の扱い・打ち切りや脱落を含むデータ・層別の必要なデータ 【特別講義(データサイエンス入門)】(12回目) → 相関と因果(相関係数、疑似相関、交絡)・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない) 統計・情報E(データサイエンス入門) (9回目、10回目、11回目、12回目) データの種類、データの分布と代表値、代表値の性質の違い、データのばらつき、観測データに含まれる誤差の扱い、打ち切りや脱落を含むデータ・層別の必要なデータ、相関と因果性、母集団と標本抽出、クロス集計表・相関係数行列・散布図行列、統計情報の正しい理解
	2-2	【特別講義(データサイエンス入門)】(7回目) (9回目) → データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ) → データの図表表現(チャート化) → データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト) → 不適切なグラフ表現(チャートジャンク・不必要な視覚的要素) → 優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など) 統計・情報E(データサイエンス入門) (8回目、9回目) データの表現、データの図解表現、データの比較、不適切なグラフ表現、優れた可視化の例
	2-3	【特別講義(データサイエンス入門)】(10回目) → データの集計(和、平均) → データの並び替え・ランキング → データ解析ツール(スプレッドシート) → 表形式のデータ(csv) 統計・情報E(データサイエンス入門) (10回目、12回目) 表形式のデータ、データ解析ツール、SSDSEデータを扱う

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- (1) 身の回りにあるデータやAI(人工知能)の利用例を知り、データサイエンスのおもしろさが実感できる。
- (2) 社会に出た際、自らデータを分析したり、AIツールを活用したりする能力を身に付けられる。
- (3) 社会における様々な応用事例を知り、データ活用の際の倫理面およびセキュリティ面における重要性が理解できる。

開講科目名／Course	統計・情報 E（データサイエンス入門）-1／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)			
時間割コード／Course Code	ZA2501			
ナンバリングコード／Numbering Code	Z211E			
曜限／Day, Period	月／Mon 1			
開講区分／semester offered	前期			
単位数／Credits	2.0			
学年／Year	1			
主担当教員／Main Instructor	鈴木 紀子			
合併科目一覧／Combined course Information	代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course	開講区分 ／semester offered
	○	ZA2501	統計・情報 E（データサイエンス入門）-1／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)	前期
		SA2201	データサイエンス入門-1	前期
		ZA4401	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-1／STATISTIC・INFORMATION（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)	前期
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation)	鈴木 紀子（経済経営学科／Department of Economics and Business Management)			
授業概要 ／Class Information	受講生が、身の回りにあるAIやデータの利活用の状況を知ることでデータサイエンスの学びを身近に感じ、専門分野を問わずデータサイエンスの技を使うことの意義や面白さに気づく授業を目指す。授業内容は、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」に沿った内容とする。			
到達目標 ／Target(s) To Be Reached	(1)受講生が、社会におけるデータやAIの利活用の状況を知ることで、データサイエンスを身近に感じる。 (2)受講生が、データの読み方や説明の仕方を身につけることで、データで表現することの楽しさを知る。 (3)受講生が、データやAIを取り扱う心得を学ぶことで、データに対するリテラシーを高める。			
関連する授業科目 ／Related Courses	・統計・情報A(ビジネス数学) ・統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)			
授業方法 ／Teaching Methods	・基本的には講義形式で授業を行う。 ・講義資料、提出課題の結果、関連教材を基に話し合いをする等の双方向的な授業を実施する。 ・調査・グループワークを4回行う。調査・グループワークでは、授業内で調査する項目を示し、近隣の席の人と情報交換をしながらまとめる。まとめた結果を授業終了までに提出する。 ・確認テストを4回行う。授業内で選択問題を示し、授業終了までに解答を提出する。 ・演習を5回行う。授業内で演習問題を示し、指定した期日までに提出する。			
履修および 予習・復習 についての指示 ／Instructions for Course Preparation and Review	・各回で、予習として「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」の講義動画等の関連教材の視聴など、準備すべきことを伝える(30-60分程度)。 ・各回での配布資料や確認テスト/調査・グループワーク/演習の解説を基に復習する(30-60分程度)。			
成績評価の方法と基準 ／Grading Methods and Criteria	・各回の確認テスト/調査・グループワーク/演習の評価（52%，4点満点×13回），確認テスト/演習の解説および調査・グループワークの紹介は授業内で行う。 ・中間課題，最終課題の評価（48%，24点満点×2回）。中間課題は採点して返却する。			

授業計画 /Class Schedule	第1回 データサイエンスの概要：社会で起きている変化 【確認テスト】 第2回 社会におけるデータ・AI利活用(1) 社会で活用されているデータ 【調査・グループワーク】 第3回 社会におけるデータ・AI利活用(2) データ・AIの活用領域【確認テスト】 第4回 社会におけるデータ・AI利活用(3) データ・AI利活用のための技術 【調査・グループワーク】 第5回 社会におけるデータ・AI利活用(4) データ・AI利活用の現場 【確認テスト】 第6回 社会におけるデータ・AI利活用(5) データ・AI利活用の最新動向 【調査・グループワーク】 第7回 中間のまとめ：これまでの授業を復習し、中間課題に取り組む。【中間課題】 第8回 データリテラシー(1) データの表現方法 【演習】 第9回 データリテラシー(2) データの分布と代表値 【演習】 第10回 データリテラシー(3) データのばらつき 【演習】 第11回 データリテラシー(4) データの関係性【演習】 第12回 データリテラシー(5) データの予測 【演習】 第13回 データ・AI利活用における留意事項(1) データ・AIを扱う上での留意事項【確認テスト】 第14回 データ・AI利活用における留意事項(2) データを守る上での留意事項【調査・グループワーク】 第15回 最終のまとめ：これまでの授業を復習し、最終課題に取り組む。【最終課題】
テキスト /Texts	北川源四郎，竹村彰道編，「データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス」講談社(2021) ISBN978-4-06-523809-7
参考文献 /References	保本正芳編，「はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス」noa出版(2022) ISBN978-4-908434-76-1

開講科目名／Course	統計・情報 E（データサイエンス入門）-2／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)		
時間割コード／Course Code	ZA2502		
ナンバリングコード／Numbering Code	Z211E		
曜限／Day, Period	月／Mon 4		
開講区分／semester offered	前期		
単位数／Credits	2.0		
学年／Year	1		
主担当教員／Main Instructor	鈴木 紀子		
合併科目一覧／Combined course Information	代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course 開講区分 ／semester offered
	○	ZA2502	統計・情報 E（データサイエンス入門）-2／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE） 前期
		SA2202	データサイエンス入門-2 前期
		ZA4402	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-2／STATISTIC・INFORMATION（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE） 前期
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation）	鈴木 紀子（経済経営学科／Department of Economics and Business Management）		
授業概要 ／Class Information	受講生が、身の回りにあるAIやデータの利活用の状況を知ることによってデータサイエンスの学びを身近に感じ、専門分野を問わずデータサイエンスの技を使うことの意義や面白さに気づく授業を目指す。授業内容は、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」に沿った内容とする。		
到達目標 ／Target(s) To Be Reached	(1)受講生が、社会におけるデータやAIの利活用の状況を知ることによって、データサイエンスを身近に感じる。 (2)受講生が、データの読み方や説明の仕方を身につけることで、データで表現することの楽しさを知る。 (3)受講生が、データやAIを取り扱う心得を学ぶことで、データに対するリテラシーを高める。		
関連する授業科目 ／Related Courses	・統計・情報A(ビジネス数学) ・統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)		
授業方法 ／Teaching Methods	・基本的には講義形式で授業を行う。 ・講義資料、提出課題の結果、関連教材を基に話し合いをする等の双方向的な授業を実施する。 ・調査・グループワークを4回行う。調査・グループワークでは、授業内で調査する項目を示し、近隣の席の人と情報交換をしながらまとめる。まとめた結果を授業終了までに提出する。 ・確認テストを4回行う。授業内で選択問題を示し、授業終了までに解答を提出する。 ・演習を5回行う。授業内で演習問題を示し、指定した期日までに提出する。		
履修および 予習・復習 についての指示 ／Instructions for Course Preparation and Review	・各回で、予習として「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」の講義動画等の関連教材の視聴など、準備すべきことを伝える(30-60分程度)。 ・各回での配布資料や確認テスト/調査・グループワーク/演習の解説を基に復習する(30-60分程度)。		
成績評価の方法と基準 ／Grading Methods and Criteria	・各回の確認テスト/調査・グループワーク/演習の評価（52%，4点満点×13回），確認テスト/演習の解説および調査・グループワークの紹介は授業内で行う。 ・中間課題，最終課題の評価（48%，24点満点×2回）。中間課題は採点して返却する。		

授業計画 /Class Schedule	第1回 データサイエンスの概要：社会で起きている変化 【確認テスト】 第2回 社会におけるデータ・AI利活用(1) 社会で活用されているデータ 【調査・グループワーク】 第3回 社会におけるデータ・AI利活用(2) データ・AIの活用領域【確認テスト】 第4回 社会におけるデータ・AI利活用(3) データ・AI利活用のための技術 【調査・グループワーク】 第5回 社会におけるデータ・AI利活用(4) データ・AI利活用の現場 【確認テスト】 第6回 社会におけるデータ・AI利活用(5) データ・AI利活用の最新動向 【調査・グループワーク】 第7回 中間のまとめ：これまでの授業を復習し、中間課題に取り組む。【中間課題】 第8回 データリテラシー(1) データの表現方法 【演習】 第9回 データリテラシー(2) データの分布と代表値 【演習】 第10回 データリテラシー(3) データのばらつき 【演習】 第11回 データリテラシー(4) データの関係性【演習】 第12回 データリテラシー(5) データの予測 【演習】 第13回 データ・AI利活用における留意事項(1) データ・AIを扱う上での留意事項【確認テスト】 第14回 データ・AI利活用における留意事項(2) データを守る上での留意事項【調査・グループワーク】 第15回 最終のまとめ：これまでの授業を復習し、最終課題に取り組む。【最終課題】
テキスト /Texts	北川源四郎，竹村彰道編，「データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス」講談社(2021) ISBN978-4-06-523809-7
参考文献 /References	保本正芳編，「はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス」noa出版(2022) ISBN978-4-908434-76-1

開講科目名／Course	統計・情報 E（データサイエンス入門）-3／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)			
時間割コード／Course Code	ZA2503			
ナンバリングコード／Numbering Code	Z211E			
曜限／Day, Period	水／Wed 1			
開講区分／semester offered	前期			
単位数／Credits	2.0			
学年／Year	1			
主担当教員／Main Instructor	鈴木 紀子			
合併科目一覧／Combined course Information	代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course	開講区分 ／semester offered
	○	ZA2503	統計・情報 E（データサイエンス入門）-3／STATISTIC・INFORMATION E（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)	前期
		SA2203	データサイエンス入門-3	前期
		ZA4403	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-3／STATISTIC・INFORMATION（INTRODUCTION TO DATA SCIENCE)	前期
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation)	鈴木 紀子（経済経営学科／Department of Economics and Business Management)			
授業概要 ／Class Information	受講生が、身の回りにあるAIやデータの利活用の状況を知ることによってデータサイエンスの学びを身近に感じ、専門分野を問わずデータサイエンスの技を使うことの意義や面白さに気づく授業を目指す。授業内容は、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」に沿った内容とする。			
到達目標 ／Target(s) To Be Reached	(1)受講生が、社会におけるデータやAIの利活用の状況を知ることによって、データサイエンスを身近に感じる。 (2)受講生が、データの読み方や説明の仕方を身につけることによって、データで表現することの楽しさを知る。 (3)受講生が、データやAIを取り扱う心得を学ぶことによって、データに対するリテラシーを高める。			
関連する授業科目 ／Related Courses	・統計・情報A(ビジネス数学) ・統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)			
授業方法 ／Teaching Methods	・基本的には講義形式で授業を行う。 ・講義資料、提出課題の結果、関連教材を基に話し合いをする等の双方向的な授業を実施する。 ・調査・グループワークを4回行う。調査・グループワークでは、授業内で調査する項目を示し、近隣の席の人と情報交換をしながらまとめる。まとめた結果を授業終了までに提出する。 ・確認テストを4回行う。授業内で選択問題を示し、授業終了までに解答を提出する。 ・演習を5回行う。授業内で演習問題を示し、指定した期日までに提出する。			
履修および 予習・復習 についての指示 ／Instructions for Course Preparation and Review	・各回で、予習として「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」の講義動画等の関連教材の視聴など、準備すべきことを伝える(30-60分程度)。 ・各回での配布資料や確認テスト/調査・グループワーク/演習の解説を基に復習する(30-60分程度)。			
成績評価の方法と基準 ／Grading Methods and Criteria	・各回の確認テスト/調査・グループワーク/演習の評価（52%，4点満点×13回），確認テスト/演習の解説および調査・グループワークの紹介は授業内で行う。 ・中間課題，最終課題の評価（48%，24点満点×2回）。中間課題は採点して返却する。			

授業計画 /Class Schedule	第1回 データサイエンスの概要：社会で起きている変化 【確認テスト】 第2回 社会におけるデータ・AI利活用(1) 社会で活用されているデータ 【調査・グループワーク】 第3回 社会におけるデータ・AI利活用(2) データ・AIの活用領域【確認テスト】 第4回 社会におけるデータ・AI利活用(3) データ・AI利活用のための技術 【調査・グループワーク】 第5回 社会におけるデータ・AI利活用(4) データ・AI利活用の現場 【確認テスト】 第6回 社会におけるデータ・AI利活用(5) データ・AI利活用の最新動向 【調査・グループワーク】 第7回 中間のまとめ：これまでの授業を復習し、中間課題に取り組む。【中間課題】 第8回 データリテラシー(1) データの表現方法 【演習】 第9回 データリテラシー(2) データの分布と代表値 【演習】 第10回 データリテラシー(3) データのばらつき 【演習】 第11回 データリテラシー(4) データの関係性【演習】 第12回 データリテラシー(5) データの予測 【演習】 第13回 データ・AI利活用における留意事項(1) データ・AIを扱う上での留意事項【確認テスト】 第14回 データ・AI利活用における留意事項(2) データを守る上での留意事項【調査・グループワーク】 第15回 最終のまとめ：これまでの授業を復習し、最終課題に取り組む。【最終課題】
テキスト /Texts	北川源四郎，竹村彰道編，「データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス」講談社(2021) ISBN978-4-06-523809-7
参考文献 /References	保本正芳編，「はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス」noa出版(2022) ISBN978-4-908434-76-1

開講科目名／Course	統計・情報 E（データサイエンス入門）-4																			
時間割コード／Course Code	ZA2504																			
ナンバリングコード／Numbering Code	Z211E																			
曜限／Day, Period	月／Mon 4																			
開講区分／semester offered	後期																			
単位数／Credits	2.0																			
学年／Year	1																			
主担当教員／Main Instructor	鈴木 紀子																			
合併科目一覧／Combined course Information	<table><tr><th>代表科目 ／Base Course</th><th>時間割コード ／Course Code</th><th>開講科目名／Course</th><th>開講区分 ／semester offered</th></tr><tr><td>○</td><td>ZA2504</td><td>統計・情報 E（データサイエンス入門）-4</td><td>後期</td></tr><tr><td></td><td>SA2204</td><td>データサイエンス入門-4</td><td>後期</td></tr><tr><td></td><td>ZA4404</td><td>【東】統計・情報（データサイエンス入門）-4</td><td>後期</td></tr></table>				代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course	開講区分 ／semester offered	○	ZA2504	統計・情報 E（データサイエンス入門）-4	後期		SA2204	データサイエンス入門-4	後期		ZA4404	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-4	後期
代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course	開講区分 ／semester offered																	
○	ZA2504	統計・情報 E（データサイエンス入門）-4	後期																	
	SA2204	データサイエンス入門-4	後期																	
	ZA4404	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-4	後期																	
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation）	鈴木 紀子（経済経営学科／Department of Economics and Business Management）																			
授業概要 ／Class Information	受講生が、身の回りにあるAIやデータの利活用の状況を知ることでデータサイエンスの学びを身近に感じ、専門分野を問わずデータサイエンスの技を使うことの意義や面白さに気づく授業を目指す。授業内容は、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」に沿った内容とする。																			
到達目標 ／Target(s) To Be Reached	(1)受講生が、社会におけるデータやAIの利活用の状況を知ることで、データサイエンスを身近に感じる。 (2)受講生が、データの読み方や説明の仕方を身につけることで、データで表現することの楽しさを知る。 (3)受講生が、データやAIを取り扱う心得を学ぶことで、データに対するリテラシーを高める。																			
関連する授業科目 ／Related Courses	・統計・情報A(ビジネス数学) ・統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)																			
授業方法 ／Teaching Methods	・基本的には講義形式で授業を行う。 ・講義資料，提出課題の結果，関連教材を基に話し合いをする等の双方向的な授業を実施する。 ・調査・グループワークを4回行う。調査・グループワークでは、授業内で調査する項目を示し、近隣の席の人と情報交換をしながらまとめる。まとめた結果を授業終了までに提出する。 ・確認テストを4回行う。授業内で選択問題を示し、授業終了までに解答を提出する。 ・演習を5回行う。授業内で演習問題を示し、指定した期日までに提出する。																			
履修および 予習・復習 についての指示 ／Instructions for Course Preparation and Review	・各回で、予習として「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」の講義動画等の関連教材の視聴など、準備すべきことを伝える(30-60分程度)。 ・各回での配布資料や確認テスト/調査・グループワーク/演習の解説を基に復習する(30-60分程度)。																			
成績評価の方法と基準 ／Grading Methods and Criteria	・各回の確認テスト/調査・グループワーク/演習の評価（52%，4点満点×13回），確認テスト/演習の解説および調査・グループワークの紹介は授業内で行う。 ・中間課題，最終課題の評価（48%，24点満点×2回）。中間課題は採点して返却する。																			

授業計画 /Class Schedule	第1回 データサイエンスの概要：社会で起きている変化 【確認テスト】 第2回 社会におけるデータ・AI利活用(1) 社会で活用されているデータ 【調査・グループワーク】 第3回 社会におけるデータ・AI利活用(2) データ・AIの活用領域【確認テスト】 第4回 社会におけるデータ・AI利活用(3) データ・AI利活用のための技術 【調査・グループワーク】 第5回 社会におけるデータ・AI利活用(4) データ・AI利活用の現場 【確認テスト】 第6回 社会におけるデータ・AI利活用(5) データ・AI利活用の最新動向 【調査・グループワーク】 第7回 中間のまとめ：これまでの授業を復習し、中間課題に取り組む。【中間課題】 第8回 データリテラシー(1) データの表現方法 【演習】 第9回 データリテラシー(2) データの分布と代表値 【演習】 第10回 データリテラシー(3) データのばらつき 【演習】 第11回 データリテラシー(4) データの関係性【演習】 第12回 データリテラシー(5) データの予測 【演習】 第13回 データ・AI利活用における留意事項(1) データ・AIを扱う上での留意事項【確認テスト】 第14回 データ・AI利活用における留意事項(2) データを守る上での留意事項【調査・グループワーク】 第15回 最終のまとめ：これまでの授業を復習し、最終課題に取り組む。【最終課題】
テキスト /Texts	北川源四郎，竹村彰道編，「データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス」講談社(2021) ISBN978-4-06-523809-7
参考文献 /References	保本正芳編，「はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス」noa出版(2022) ISBN978-4-908434-76-1

開講科目名／Course	統計・情報 E（データサイエンス入門）-5			
時間割コード／Course Code	ZA2505			
ナンバリングコード／Numbering Code	Z211E			
曜限／Day, Period	水／Wed 1			
開講区分／semester offered	後期			
単位数／Credits	2.0			
学年／Year	1			
主担当教員／Main Instructor	鈴木 紀子			
合併科目一覧／Combined course Information	代表科目 ／Base Course	時間割コード ／Course Code	開講科目名／Course	開講区分 ／semester offered
	○	ZA2505	統計・情報 E（データサイエンス入門）-5	後期
		SA2205	データサイエンス入門-5	後期
		ZA4405	【東】統計・情報（データサイエンス入門）-5	後期
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation）	鈴木 紀子（経済経営学科／Department of Economics and Business Management）			
授業概要 ／Class Information	受講生が、身の回りにあるAIやデータの利活用の状況を知ることでデータサイエンスの学びを身近に感じ、専門分野を問わずデータサイエンスの技を使うことの意義や面白さに気づく授業を目指す。授業内容は、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」に沿った内容とする。			
到達目標 ／Target(s) To Be Reached	(1)受講生が、社会におけるデータやAIの利活用の状況を知ることで、データサイエンスを身近に感じる。 (2)受講生が、データの読み方や説明の仕方を身につけることで、データで表現することの楽しさを知る。 (3)受講生が、データやAIを取り扱う心得を学ぶことで、データに対するリテラシーを高める。			
関連する授業科目 ／Related Courses	・統計・情報A(ビジネス数学) ・統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)			
授業方法 ／Teaching Methods	・基本的には講義形式で授業を行う。 ・講義資料，提出課題の結果，関連教材を基に話し合いをする等の双方向的な授業を実施する。 ・調査・グループワークを4回行う。調査・グループワークでは、授業内で調査する項目を示し、近隣の席の人と情報交換をしながらまとめる。まとめた結果を授業終了までに提出する。 ・確認テストを4回行う。授業内で選択問題を示し、授業終了までに解答を提出する。 ・演習を5回行う。授業内で演習問題を示し、指定した期日までに提出する。			
履修および 予習・復習 についての指示 ／Instructions for Course Preparation and Review	・各回で、予習として「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」の講義動画等の関連教材の視聴など、準備すべきことを伝える(30-60分程度)。 ・各回での配布資料や確認テスト/調査・グループワーク/演習の解説を基に復習する(30-60分程度)。			
成績評価の方法と基準 ／Grading Methods and Criteria	・各回の確認テスト/調査・グループワーク/演習の評価（52%，4点満点×13回），確認テスト/演習の解説および調査・グループワークの紹介は授業内で行う。 ・中間課題，最終課題の評価（48%，24点満点×2回）。中間課題は採点して返却する。			

授業計画 /Class Schedule	第1回 データサイエンスの概要：社会で起きている変化 【確認テスト】 第2回 社会におけるデータ・AI利活用(1) 社会で活用されているデータ 【調査・グループワーク】 第3回 社会におけるデータ・AI利活用(2) データ・AIの活用領域【確認テスト】 第4回 社会におけるデータ・AI利活用(3) データ・AI利活用のための技術 【調査・グループワーク】 第5回 社会におけるデータ・AI利活用(4) データ・AI利活用の現場 【確認テスト】 第6回 社会におけるデータ・AI利活用(5) データ・AI利活用の最新動向 【調査・グループワーク】 第7回 中間のまとめ：これまでの授業を復習し、中間課題に取り組む。【中間課題】 第8回 データリテラシー(1) データの表現方法 【演習】 第9回 データリテラシー(2) データの分布と代表値 【演習】 第10回 データリテラシー(3) データのばらつき 【演習】 第11回 データリテラシー(4) データの関係性【演習】 第12回 データリテラシー(5) データの予測 【演習】 第13回 データ・AI利活用における留意事項(1) データ・AIを扱う上での留意事項【確認テスト】 第14回 データ・AI利活用における留意事項(2) データを守る上での留意事項【調査・グループワーク】 第15回 最終のまとめ：これまでの授業を復習し、最終課題に取り組む。【最終課題】
テキスト /Texts	北川源四郎，竹村彰道編，「データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス」講談社(2021) ISBN978-4-06-523809-7
参考文献 /References	保本正芳編，「はじめの一步 基礎から始めるデータサイエンス」noa出版(2022) ISBN978-4-908434-76-1

履 修 要 項

2023

文 学 部

大学院 人文科学研究科

2023年度
履修要項

文

学

部

／ 大学院 人文科学研究科

帝塚山大学

帝塚山大学
教学支援課（文学部）

東生駒キャンパス
〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-8150 FAX 0742-48-9025
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝 塚 山 大 学

2023年度文学部日本文化学科カリキュラム表

・卒業所要単位：124単位

教養科目・言語リテラシー科目・特別科目（N23）

区分 (卒業必要 単位数)	科目 コード	科 目 名	配当 年次	開講時期形態		単位数		担当者 ※担当者氏名の○内数字は、 開講クラス数を示す。(数字 表示がない場合は1クラス開 講)。なお、複数クラス開講 の場合はいずれか一つを選 択すること。
				前→前期 後→後期	週当り 授業回数	必修	選択	
教養科目（8単位以上）	ZA30	統計・情報(コンピュータ・リテラシー)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：日置・外部講師 後：日置・外部講師
	ZA44	統計・情報(データサイエンス入門)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：鈴木(紀)③ 後：鈴木(紀)②
	ZA31	科学(科学の歴史)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：安井 後：片岡
	ZA32	科学(生命科学)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：都留 後：都留
	ZA33	科学(環境科学)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：渡部 後：渡部
	ZA34	科学(行動科学)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：董 後：董
	ZA35	歴史・人文(哲学の世界)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：嵩原 後：嵩原
	ZA36	歴史・人文(芸術の世界)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：関根 後：関根
	ZA37	歴史・人文(文学の世界)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：恵阪 後：恵阪
	ZA39	社会・文化(情報と社会)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：谷口 後：谷口
	ZA40	社会・文化(異文化の理解)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：頼 後：頼
	ZA41	社会・文化(人権と社会)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：森 後：森
	ZA42	社会・文化(地域と社会貢献)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：草川 後：草川
	ZA43	社会・文化(教育)	1・2・3・4	前・後	週1回		2	前：高藤 後：高藤
	ZC01	スポーツ科学A	1・2・3・4	前	週1回		1	伊藤(麻)③、本田②、浦井①
	ZC02	スポーツ科学B	1・2・3・4	後	週1回		1	伊藤(麻)、本田、浦井
	ZC03	スポーツ科学C	2・3・4	前	週1回		1	2023年度不開講
	ZC04	スポーツ科学D	2・3・4	後	週1回		1	2023年度不開講
言語リテラシー科目（8単位以上）	ZB10	英語A	1・2・3・4	前・後	週1回		1	前：小谷、パウワー②、祐田 後：小谷、祐田、パウワー・外部講師
	ZB11	英語B	1・2・3・4	前・後	週1回		1	前：祐田、安川、パウワー・外部講師② 後：祐田、安川、パウワー・外部講師②
	ZB12	英語C	1・2・3・4	前・後	週1回		1	前：三村、片淵、パウワー・外部講師② 後：安川、片淵、パウワー②
	ZB13	英語D	1・2・3・4	前・後	週1回		1	前：大橋②、パウワー・外部講師② 後：大橋、安川、パウワー・外部講師②
	ZB14	英語E	2・3・4	前・後	週1回		1	2023年度不開講
	ZB15	英語F	2・3・4	前・後	週1回		1	2023年度不開講
	ZB16	英語G	2・3・4	前・後	週1回		1	2023年度不開講
	ZB17	英語H	2・3・4	前・後	週1回		1	2023年度不開講
	ZB20	大学英語入門	1・2・3・4	前	週2回		2	パウワー・小谷
	ZB21	大学英語基礎	1・2・3・4	後	週2回		2	パウワー・小谷
	ZB30	中国語Ⅰ	1・2・3・4	前・後	週2回		2	前：王・樋口 後：大西・洪、川端・康
	ZB31	中国語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2	大西・康
	ZB40	ハングルⅠ	1・2・3・4	前・後	週2回		2	前：平井・黄 後：平井・黄、林・巖
	ZB41	ハングルⅡ	1・2・3・4	前・後	週2回		2	前：林・巖 後：平井・黄
	ZB50	フランス語Ⅰ	1・2・3・4	前・後	週2回		2	前：脇・藤本 後：脇・藤本
	ZB51	フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2	脇・藤本
	ZB60	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4	前・後	週2回		2	前：ソナン・寺本 後：ソナン・寺本
	ZB61	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2	ソナン・ソナン
特別科目	HZ85	特殊講義(文化史入門)	1・2・3・4	前	週1回		2	多川
	HZ47	特殊講義(正倉院を知る)	1・2・3・4	後	週1回		2	牟田口
	HZ67	特殊講義(創作の書)	1・2・3・4	通年	週1回		2	喜多
	HZ71	特殊講義(実用(書)A)	1・2・3・4	後	週1回		2	喜多
	HZ87	特殊講義(アナウンサーに学ぶ自己演出法)	2・3・4	前	週1回		2	2023年度不開講
	HZ61	特殊講義(文学部の学びと将来設計)	2・3・4	後	週1回		2	2023年度不開講
	HZ75	特殊講義(奈良の書道文化)	2・3・4	前	週1回		2	2023年度不開講
	HZ79	特殊講義(創作文芸・出版B)	2・3・4	後	週1回		2	2023年度不開講
	HZ81	特殊講義(創作を学ぶ)	2・3・4	前	集中		2	2023年度不開講
	HZ83	特殊講義(日本における生活文化の地域差)	1・2・3・4	前	週1回		2	川口
	HZ84	特殊講義(近代移行期の日本における生活文化)	1・2・3・4	前	週1回		2	川口
	HZ86	特殊講義(日本の伝統文化)	1・2・3・4	前	週1回		2	恵阪
	HZ88	特殊講義(文化財資料活用法A)	2・3・4	前	週1回		2	2023年度不開講
	HZ89	特殊講義(文化財資料活用法B)	2・3・4	後	週1回		2	2023年度不開講
	HZ90	特殊講義(文化財情報メディア活用法)	2・3・4	前	週1回		2	2023年度不開講
	HZ92	特殊講義(地形図から読む地域の変貌)	1・2・3・4	後	週1回		2	川口
	HZ91	特殊講義(イメージの世界の地理学)	1・2・3・4	後	週1回		2	川口

・言語リテラシー科目Ⅰ、Ⅱについてはステップ制につき、Ⅰを修得しなければⅡを履修することができない。

・「特別科目」の修得単位は、「自由選択科目」として卒業所要単位に算入することができる。

履 修 要 項

2023 経済経営学部

帝塚山大学 教学支援課（経済経営学部）

東生駒キャンパス
〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-9202／9861
FAX 0742-48-9308
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝 塚 山 大 学

2023年度 経済経営学部 教養科目カリキュラム

学籍：E18・E19・E20・E21・E22・E23

科目区分	卒業所要単位	科目コード	科目名	単位数		配当年次	開講形態		教職		担当者		備考
				必修	選択必修		前 →前期のみ週1回開講 後 →後期のみ週1回開講 通年→通年の週1回開講 集中→集中講義	社→中学社会 公→高校公民	必修	選択必修	同一科目が複数クラス開講される場合、いずれか一つのクラスのみ履修可能。担当者氏名の前に○付数字でクラス番号を示している。		
											前期	後期	
教養科目	18単位以上	ZA01	統計・情報A(ビジネス数学)		2	1・2・3・4	前	後			①鈴木(紀)	②鈴木(紀)	
		ZA02	統計・情報B(ビジネスデータ分析)		2	1・2・3・4	前	後			①鈴木(紀)	②鈴木(紀)	
		ZA03	統計・情報C(リサーチ入門)		2	1・2・3・4	前	後			①岩井	②池田(梨)	
		ZA04	統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)		2	1・2・3・4	前	後	社・公		①～④日置・外部講師	⑦日置・外部講師	
		ZA05	科学A(科学の歴史)		2	1・2・3・4	前	後			①片岡	②③片岡	
		ZA06	科学B(現代の科学技術)		2	1・2・3・4	前	後			①仲島	②仲島	
		ZA07	科学C(生命科学)		2	1・2・3・4	前	後			①都留	②③都留	
		ZA08	科学D(環境科学)		2	1・2・3・4	前	後			①渡部	②渡部	
		ZA09	科学E(行動科学)		2	1・2・3・4	前	後			①②董	③④董	
		ZA10	歴史・人文A(世界近現代史)		2	1・2・3・4	前	後			①関 ②小島	③小島	
		ZA11	歴史・人文B(日本近現代史)		2	1・2・3・4	前	後			①②小島	③小島	
		ZA12	歴史・人文C(哲学の世界)		2	1・2・3・4	前	後			①②嵩原	③嵩原	
		ZA13	歴史・人文D(芸術の世界)		2	1・2・3・4	前	後			①石松	②石松	
		ZA14	歴史・人文E(文学の世界)		2	1・2・3・4	前	後			①恵阪	②恵阪	
		ZA15	歴史・人文F(奈良学)		2	1・2・3・4	前	後			①平松	②③平松	
		ZA16	社会・文化A(社会学)		2	1・2・3・4	前	後			①高藤②池田(梨)	③池田(梨)	
		ZA17	社会・文化B(現代の政治)		2	1・2・3・4	前	後			①小島	②小島	
		ZA18	社会・文化C(情報と社会)		2	1・2・3・4	前	後			①濱千代	②③濱千代	
		ZA19	社会・文化D(異文化の理解)		2	1・2・3・4	前	後			①頼	②頼	
		ZA20	社会・文化E(世界の宗教)		2	1・2・3・4	前	後			①濱千代	②岩井	
		ZA21	社会・文化F(人権と社会)		2	1・2・3・4	前	後			①森	②森	
		ZA22	社会・文化G(ボランティア論)		2	1・2・3・4	前	後			①②丸山	③丸山	
		ZA23	社会・文化H(地域と社会貢献)		2	1・2・3・4	前	後			①草川	②草川	
		ZA24	社会・文化I(プロジェクト演習)		2	1・2・3・4		後			—	草川	
		ZA05	統計・情報E(データサイエンス入門)(E23のみ)		1	1・2・3・4	前	後			①～③鈴木(紀)	④⑤鈴木(紀)	
		ZV51	スポーツ医学(E20以前)		2	2・3・4	前				福本	—	スポーツ指導者資格「スポーツリーダー」適用科目(P55参照)
		ZV52	スポーツ栄養学(E20以前)		2	2・3・4		後			—	成田	
		ZV53	スポーツ心理学(E20以前)		2	2・3・4	前			伊藤	—	—	
		ZV54	スポーツ指導論(E20以前)		2	2・3・4		後		—	伊藤	—	
		ZV55	スポーツ社会学(E20以前)		2	2・3・4		後		—	浦井	—	
		ZV56	スポーツマネジメント(E20以前)		2	2・3・4	前			浦井・末吉	—	—	
		ZV57	スポーツトレーニング論		2	1・2・3・4					【2023年度不開講】		
		ZV58	スポーツの歴史と文化		2	1・2・3・4					【2023年度不開講】		
		ZX71	日本事情A		2	1・2・3・4	前				川添	—	外国人留学生適用科目 ※外国人留学生のみ履修可
		ZX72	日本事情B		2	1・2・3・4		後			—	川添	
		ZX73	日本事情C		2	1・2・3・4	前				川添・関・上寫	—	
		ZX74	日本事情D		2	1・2・3・4		後			—	川添・関・上寫	

履 修 要 項

2023 法 学 部

2023年度
履修要項

法
学
部

帝塚山大学

帝塚山大学
教学支援課（法学部）

東生駒キャンパス
〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-9461 FAX 0742-48-9463
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝 塚 山 大 学

2023年度 法学部カリキュラム表 G20－G23

学籍 G20－G23

【法学部法学科】

科目 区分	必要 単位数	科目 コード	科目名	開講時期形態			単位数		担当者	
				配当 年次	開講期	開講 回数 (週)	必修	選択	前 期	後 期
教養科目	18 単位以上	ZA01	統計・情報A(ビジネス数学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	鈴木(1)	鈴木(1)
		ZA02	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	鈴木(1)	鈴木(1)
		ZA03	統計・情報C(リサーチ入門)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	岩井(1)	池田(1)
		ZA04	統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	日置・外部委託(2)	日置・外部委託(1)
		ZA25	統計・情報E(データサイエンス入門)※G23のみ	1・2・3・4	前/後	週1回		2	鈴木(3)	鈴木(2)
		ZA05	科学A(科学の歴史)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	片岡(1)	片岡(2)
		ZA06	科学B(現代の科学技術)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	仲島(1)	仲島(1)
		ZA07	科学C(生命科学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	都留(1)	都留(2)
		ZA08	科学D(環境科学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	渡部(1)	渡部(1)
		ZA09	科学E(行動科学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	重(2)	重(2)
		ZA10	歴史・人文A(世界近現代史)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	関(1)、小島(1)	小島(1)
		ZA11	歴史・人文B(日本近現代史)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	小島(2)	小島(1)
		ZA12	歴史・人文C(哲学の世界)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	髙原(2)	髙原(1)
		ZA13	歴史・人文D(芸術の世界)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	石松(1)	石松(1)
		ZA14	歴史・人文E(文学の世界)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	恵阪(1)	恵阪(1)
		ZA15	歴史・人文F(奈良学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	平松(1)	平松(2)
		ZA16	社会・文化A(社会学)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	高藤(1)、池田(1)	池田(1)
		ZA17	社会・文化B(現代の政治)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	小島(1)	小島(1)
		ZA18	社会・文化C(情報と社会)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	濱千代(1)	濱千代(2)
		ZA19	社会・文化D(異文化の理解)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	頼(1)	頼(1)
		ZA20	社会・文化E(世界の宗教)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	濱千代(1)	岩井(1)
		ZA21	社会・文化F(人権と社会)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	森(1)	森(1)
		ZA22	社会・文化G(ボランティア論)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	丸山(2)	丸山(1)
		ZA23	社会・文化H(地域と社会貢献)	1・2・3・4	前/後	週1回		2	草川(1)	草川(1)
		ZA24	社会・文化I(プロジェクト演習)	1・2・3・4	後	週1回		2	草川(1)	草川(1)
言語リテラシー科目	必修を含む 8単位以上	ZB02	日本語表現	1・2・3・4	前/後	週1回	2		大西(1)、谷(4)、濱千代(2)、 佐々木(6)、寒竹(2)	谷(2)、佐々木(1)
		ZB10	英語A	1・2・3・4	前/後	週1回		1	三上(2)、パウワー、小谷、小林(1)、 パウワー・外部委託(3)	パウワー、奥村、三上、 安川(1)、パウワー・外部委託(2)
		ZB11	英語B	1・2・3・4	前/後	週1回		1	北本、奥村、安川、祐田(1)、 パウワー・外部委託(4)	小谷、祐田、安川(1)、 パウワー・外部委託(3)
		ZB12	英語C	1・2・3・4	前/後	週1回		1	三村(2)、片淵(1)、 パウワー・外部委託(3)	パウワー、小谷、三上、 大橋、小林(1)、 パウワー・外部委託(3)
		ZB13	英語D	1・2・3・4	前/後	週1回		1	小谷、安川、大橋(1)、 パウワー・外部委託(3)	三村(2)、北本、片淵(1)、 パウワー・外部委託(4)
		ZB14	英語E	1・2・3・4	前/後	週1回		1	マラン(1)	シェフナー(1)
		ZB15	英語F	2・3・4	前/後	週1回		1	シェフナー(1)	シェフナー(2)
		ZB16	英語G	2・3・4	前/後	週1回		1	パウワー・外部委託(2)	パウワー・外部委託(1)
		ZB17	英語H	2・3・4	前/後	週1回		1	小谷・外部委託(1)	小谷・外部委託(1)
		ZB18	英語S ※G20・21・22のみ	1・2・3・4	後	週1回		1		【不開講】
		ZB20	大学英語入門	1・2・3・4	前	週2回		2	〈奥村・パウワー〉(1)	
		ZB21	大学英語基礎	1・2・3・4	後	週2回		2		〈パウワー・小谷〉(1)
		ZB30	中国語Ⅰ	1・2・3・4	前/後	週2回		2	〈王・樋口〉(1)、大西(2)	王(2)、〈王・樋口〉、 〈大西・康〉(1)
		ZB31	中国語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2		〈大西・康〉(1)
		ZB40	ハンゲルⅠ	1・2・3・4	前/後	週2回		2	〈林・周〉、〈林・巖〉、〈黄・周〉(1)	〈林・巖〉(2)
		ZB41	ハンゲルⅡ	1・2・3・4	前/後	週2回		2	〈林・巖〉(1)	〈平井・黄〉(1)
		ZB50	フランス語Ⅰ	1・2・3・4	前/後	週2回		2	〈脇・藤本〉(1)	〈脇・藤本〉(1)
		ZB51	フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2		〈脇・藤本〉(1)
		ZB60	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4	前/後	週2回		2	〈ソナン・寺本〉(1)	〈ソナン・寺本〉(1)
		ZB61	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4	後	週2回		2		ソナン(2)
専門科目	専門基礎科目	GG01	基礎演習Ⅰ	1・2・3・4	前/後	週1回	2		黄、佐野、福本、青田、末吉、 羽淵、馬場(S)(1)	末吉(S)(1)
		GG02	基礎演習Ⅱ	1・2・3・4	前/後	週1回	2		佐野(S)(1)	岡本、馬場、羽淵、青田、 黄、高、松下、馬場(S)(1)
		GI01	法学入門	1・2・3・4	前/後	週1回	2		笹邊、佐野(S)(1)	隅田(S)(1)
		GI63	憲法入門	1・2・3・4	前	週1回		2	羽淵(1)	
		GI64	民法入門	1・2・3・4	前	週1回		2	松下(1)	
		GI04	刑事法入門	1・2・3・4	後	週1回		2		岡本(1)
		GI74	裁判法入門	1・2・3・4	後	週1回		2		笹邊(1)
		GI69	商法入門	2・3・4	前	週1回		2	福本(1)	
		GI72	行政法入門	2・3・4	前	週1回		2	青田(1)	
		GI83	経済学概論	1・2・3・4	前	週1回		2	浅居(1)	
		GI84	経営学概論	1・2・3・4	前	週1回		2	田中・吉村・薄井(3)	
		GG05	専門基礎演習A	2・3・4	前	週1回		2	羽淵、岡本、黄、青田、笹邊、 馬場、福本、末吉(1)	
		GG06	専門基礎演習B	2・3・4	後	週1回		2		岡本、佐野、末吉、青田、 羽淵、高、黄、関(1)
	専門基幹科目	GI65	憲法	1・2・3・4	後	週2回		4		羽淵(1)
		GI66	民法A	1・2・3・4	後	週2回		4		松下(1)
		GI08	平和学	2・3・4	前	週1回		2	末吉(1)	
		GI73	行政法	2・3・4	後	週2回		4		青田(1)
		GI16	刑法	2・3・4	前	週2回		4	岡本(1)	
		GI17	刑事訴訟法	2・3・4	後	週2回		4		隅田(1)
		GI67	民法B	2・3・4	前	週2回		4	松下(1)	
		GI68	民法C	2・3・4	後	週1回		2		松下(1)
		GI82	消費者法	2・3・4	後	週1回		2		馬場(1)
		GI70	商法A	2・3・4	後	週2回		4		福本(1)
		GI23	金融システム論	2・3・4	前	週1回		2	福本(1)	
		GI28	国際法	2・3・4	後	週2回		4		末吉(1)
		GI76	政治学	2・3・4	前	週1回		2	関(1)	
		GI35	地方自治法	3・4	後	週1回		2		青田(1)
		GI77	刑事学	3・4	前	週1回		2	隅田(1)	
		GI39	被害者学	3・4	前	週1回		2	岡本(1)	

履修規定
G20
～
G23

履 修 要 項

2023

心 理 学 部

大学院 心理科学研究科

2023年度
履修要項

心
理
学
部
／
大学院 心理科学研究科

帝塚山大学

帝塚山大学
教学支援課（心理学部）

学園前キャンパス
〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
TEL 0742-41-4720 FAX 0742-41-4905
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝 塚 山 大 学

2023年度 心理学科カリキュラム表

[2023年度入学生用]

教養科目・言語リテラシー科目

区分 (卒業 必要 単位数)	科目 コード	科 目 名	配当 年次	単位数		開講時期形態		担当者(東生駒) ※担当者氏名の○内数字は、開講クラス番号を示す (数字表示がない場合は1クラス開講)。なお、複数 クラス開講の場合はいずれか一つを選択すること。
				必修	選択 必修	前→前期 後→後期	週当たり 授業 回数	
教養科目(12単位以上)	ZA30	統計・情報(コンピュータ・リテラシー)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:①②日置・外部講師 後:日置・外部講師
	ZA44	統計・情報(データサイエンス入門)	1		2	前・後	週1回	前:①②③鈴木(紀) 後:①②鈴木(紀)
	ZA31	科学(科学の歴史)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:安井 後:片岡
	ZA32	科学(生命科学)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:都留 後:都留
	ZA33	科学(環境科学)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:渡部 後:渡部
	ZA35	歴史・人文(哲学の世界)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:嵩原 後:嵩原
	ZA36	歴史・人文(芸術の世界)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:関根 後:関根
	ZA37	歴史・人文(文学の世界)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:恵阪 後:恵阪
	ZA38	歴史・人文(奈良学)	1・2・3・4		2	前	週1回	奥村
	ZA39	社会・文化(情報と社会)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:谷口(俊) 後:谷口(俊)
	ZA40	社会・文化(異文化の理解)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:頼 後:頼
	ZA41	社会・文化(人権と社会)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:森 後:森
	ZA42	社会・文化(地域と社会貢献)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:草川 後:草川
	ZA43	社会・文化(教育)	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:高藤 後:高藤
	ZC01	スポーツ科学A	1・2・3・4		1	前	週1回	①②伊藤③浦井
	ZC02	スポーツ科学B	1・2・3・4		1	後	週1回	①②伊藤③浦井
	ZC03	スポーツ科学C	2・3・4		1	前	週1回	(不開講)
	ZC04	スポーツ科学D	2・3・4		1	後	週1回	(不開講)
言語リテラシー科目(8単位以上)	ZB02	日本語表現	1・2・3・4		2	前・後	週1回	前:谷 後:谷
	ZB10	英語 A	1・2・3・4		1	前・後	週1回	前:①小谷②パウワー③祐田④パウワー 後:①小谷②パウワー・外部講師③祐田④パウワー・外部講師
	ZB11	英語 B	1・2・3・4		1	前・後	週1回	前:①祐田②パウワー・外部講師③安川④パウワー・外部講師 後:①祐田②パウワー・外部講師③大橋④パウワー・外部講師
	ZB12	英語 C	1・2・3・4		1	前・後	週1回	前:①三村②パウワー・外部講師③片渕④パウワー・外部講師 後:①安川②パウワー③片渕④パウワー
	ZB13	英語 D	1・2・3・4		1	前・後	週1回	前:①大橋②パウワー・外部講師③大橋④パウワー・外部講師 後:①大橋②パウワー・外部講師③安川④パウワー・外部講師
	ZB14	英語 E	1・2・3・4		1	前・後	週1回	(不開講)
	ZB15	英語 F	2・3・4		1	前・後	週1回	(不開講)
	ZB16	英語 G	2・3・4		1	前・後	週1回	(不開講)
	ZB17	英語 H	2・3・4		1	前・後	週1回	(不開講)
	ZB20	大学英語入門	1・2・3・4		2	前	週2回	パウワー・小谷
	ZB21	大学英語基礎	1・2・3・4		2	後	週2回	パウワー・小谷
	ZB30	中国語 I	1・2・3・4		2	前・後	週2回	前:王・樋口 後:①大西・洪②川端・康
	ZB31	中国語 II	1・2・3・4		2	後	週2回	大西・康
	ZB40	ハングル I	1・2・3・4		2	前・後	週2回	前:平井・黄 後:①平井・黄②林・厳
	ZB41	ハングル II	1・2・3・4		2	後	週2回	平井・黄
	ZB50	フランス語 I	1・2・3・4		2	前・後	週2回	前:脇・藤本 後:脇・藤本
	ZB51	フランス語 II	1・2・3・4		2	後	週2回	脇・藤本
	ZB60	スペイン語 I	1・2・3・4		2	前・後	週2回	前:ソナン・寺本 後:ソナン・寺本
	ZB61	スペイン語 II	1・2・3・4		2	後	週2回	ソナン

※1年生を対象に東生駒キャンパスで開講。

履修要項

2023

現代生活学部

食物栄養学科 居住空間デザイン学科

帝塚山大学
教学支援課（現代生活学部・教育学部）

学園前キャンパス
〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
TEL 0742-41-4719 FAX 0742-41-4905
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

2023年度
履修要項

現代生活学部
食物栄養学科・居住空間デザイン学科

帝塚山大学

帝塚山大学

3. カリキュラム表

共通教養科目（学科共通）

区分	卒業必要単位数	科目コード	科目名	配当年次	開講時期形態		単位数		資格免許	学科・担当者(東生駒開講)	学科・担当者(学園前開講)
					前→前期 後→後期	週当り 授業回数	必修	選択 必修		東生駒開講は1年次以上の科目、学園前開講は2年次以上の科目(学園前開講で○のある科目は1年次以上) 担当者の前のSKCは学科を示す(S・食物、K・居住、C・こども教育学科) 氏名の後の()は開講クラス数を示す	
教養科目	12単位以上	SA01	文化と人間A(日本の文化)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK 奥村(晃)(前1)	SKC 奥村(晃)(後1)
		SA02	文化と人間B(世界の文化)	1 2 3 4	後	週1回		2		SKC 嵩原	
		SA03	文化と人間C(文学)	1 2 3 4	後	週1回		2		SK 池田	○C 池田
		SA04	文化と人間D(芸術)	1 2 3 4	前	週1回		2		SK 前木	
		SA05	社会と人間A(経済)	1 2 3 4	後	週1回		2		SKC 田島	
		SA06	社会と人間B(教育)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK高藤(前1)、C赤井(後1)	SKC 赤井(前1)
		SA07	社会と人間C(法学)	1 2 3 4	後	週1回		2		SKC 加藤(敬)	
		SA08	社会と人間D(マスコミ)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK 谷口(俊)(後1)	SKC 谷口(俊)(前1)
		SA09	自然と人間A(生命)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SKC 都留(前1)	SKC 都留(後1)
		SA10	自然と人間B(健康)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK 村上(後1)	SKC 村上(前1)
		SA11	自然と人間C(環境)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK渡部(前1)、C渡部(後1)	SKC 渡部(後1)
		SA12	自然と人間D(現代科学)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SK 安井(伸)(後1)	SKC 安井(伸)(前1)
		SA13	人間論A	1 2 3 4	前	週1回		2		SK 嵩原	
		SA14	人間論B	1 2 3 4	後	週1回		2		SK 嵩原	
		SA15	人権論A	1 2 3 4	前	週1回		2	教職(中・高): 選択必修科目	SK 森(由)、C 森(由)	
		SA16	人権論B	1 2 3 4	後	週1回		2		SKC 森(由)	
		SA17	情報基礎A	1 2 3 4	前	週1回		2	教職:	SK 佐藤(2)、C 佐藤(2)	SKC 佐藤
		SA18	情報基礎B	1 2 3 4	後	週1回		2	1科目必修	SK 佐藤(2)、C 佐藤	SKC 佐藤
		SA19	健康科学A	1 2 3 4	前	週1回		2	教職:	SK 関岡、C 関岡	
		SA20	健康科学B	1 2 3 4	後	週1回		2	1科目必修	SK 関岡	SKC 関岡
		SA21	日本国憲法	1 2 3 4	前期集中			2	教職		○SK 上出
		SA22	データサイエンス入門(23年度生)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		SKC 鈴木(紀)(前3・後2)	
外国語科目	8単位以上	SB21	英語A	1 2 3 4	前	週1回		1	教職	S 山路(2)、三村 K 山路(2) C 奥村(玲)(2)、 C 安川(2)	SKC 三村
		SB22	英語B	1 2 3 4	前	週1回		1	教職	S 片淵(2)、三上 K 有本(2) C 小林(2)、 C 橋本(2)	SKC 小谷
		SB23	英語C	1 2 3 4	後	週1回		1		S 山路(2)、三村 K 山路(2) C 奥村(玲)(2)、 C 安川、三上	SKC 三上
		SB24	英語D	1 2 3 4	後	週1回		1		S 片淵(2)、三上 K 有本(2) C 小林(2)、 C 橋本(2)	SKC 松浦(芳)
		SB25	英語E	2 3 4	前	週1回		1			S 高橋(2) K 杉原(2) C 三村、杉原、 C 奥村(玲)(2)
		SB26	英語F	2 3 4	前	週1回		1			S 三上(2) K 高橋(2) C 門口(2)、松浦(芳)(2)
		SB27	英語G	2 3 4	後	週1回		1			S 高橋(2) K 杉原(2) C 三上、松浦(芳)、 C 奥村(玲)(2)
		SB28	英語H	2 3 4	後	週1回		1			S 三村(2) K マラン(2) C 門口(2)、松浦(芳)(2)
		SB05	フランス語I	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		SKC 脇・藤本(前1・後1)	SKC 藤本(前1)
		SB06	フランス語II	1 2 3 4	後	週2回		2		SKC 脇・藤本	SKC 藤本
		SB09	中国語I	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		SKC 王・樋口(前1)、 SKC 川端・洪(前1)、 SKC 大西・洪(後1)、 SKC 川端・康(後1)	SKC 大西・康(前1)
		SB10	中国語II	1 2 3 4	後	週2回		2		SKC 大西・康	SKC 大西・王
		SB13	ハンガールI	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		SKC 黄・平井(前2・後1)、 SKC 林・巖(後1)	SKC 黄・周(前1)
		SB14	ハンガールII	1 2 3 4	後	週2回		2		SKC 黄・平井	SKC 黄・周
		SB17	スペイン語I	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		SKC ソナン・寺本(前1・後1)	SKC 寺本・ソナン(前1)
		SB18	スペイン語II	1 2 3 4	後	週2回		2		SKC ソナン	SKC 寺本・ソナン

履 修 要 項

2023

教 育 学 部

こども教育学科

2023年度
履修要項

教育学部
こども教育学科

帝塚山大学

帝塚山大学
教学支援課（現代生活学部・教育学部）

学園前キャンパス
〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
TEL 0742-41-4769 FAX 0742-41-4905
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝 塚 山 大 学

3. カリキュラム表

共通教養科目（学科共通）

区分	卒業必要単位数	科目コード	科目名	配当年次	開講時期形態		単位数		資格免許	担当者(東生駒開講)	担当者(学園前開講)
					前→前期 後→後期	週当り 授業回数	必修	選択 必修		東生駒開講は1年次以上の科目、学園前開講は2年次以上の科目(学園前開講で○のある科目は1年次以上) 氏名の後の()は開講クラス数を示す	
教養科目	12単位以上	SA01	文化と人間A(日本の文化)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		奥村(晃)(前1)	奥村(晃)(後1)
		SA02	文化と人間B(世界の文化)	1 2 3 4	後	週1回		2		嵩原	
		SA03	文化と人間C(文学)	1 2 3 4	後	週1回		2	保育		○池田
		SA04	文化と人間D(芸術)	1 2 3 4	前	週1回		2		前木	
		SA05	社会と人間A(経済)	1 2 3 4	後	週1回		2		田島	
		SA06	社会と人間B(教育)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		赤井(後1)	赤井(前1)
		SA07	社会と人間C(法学)	1 2 3 4	後	週1回		2		加藤(敬)	
		SA08	社会と人間D(マスコミ)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		谷口(俊)(後1)	谷口(俊)(前1)
		SA09	自然と人間A(生命)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		都留(前1)	都留(後1)
		SA10	自然と人間B(健康)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		村上(後1)	村上(前1)
		SA11	自然と人間C(環境)	1 2 3 4	後	週1回		2	保育	渡部(後1)	渡部(後1)
		SA12	自然と人間D(現代科学)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		安井(伸)(後1)	安井(伸)(前1)
		SA13	人間論A	1 2 3 4	前	週1回		2		嵩原	
		SA14	人間論B	1 2 3 4	後	週1回		2		嵩原	
		SA15	人権論A	1 2 3 4	前	週1回		2		森(由)	
		SA16	人権論B	1 2 3 4	後	週1回		2		森(由)	
		SA17	情報基礎A	1 2 3 4	前	週1回		2	教職:1科目必修 保育:A必修	佐藤(2)	佐藤
		SA18	情報基礎B	1 2 3 4	後	週1回		2		佐藤	佐藤
		SA19	健康科学A	1 2 3 4	前	週1回		2	教職:1科目必修 保育:A必修	関岡	
		SA20	健康科学B	1 2 3 4	後	週1回		2		関岡	関岡
		SA22	データサイエンス入門(23年度生)	1 2 3 4	前又は後	週1回		2		鈴木(紀)(前3・後2)	
外国語科目	8単位以上	SB21	英語A	1 2 3 4	前	週1回		1	教職・保育	奥村(玲)(2)、安川(2)	三村
		SB22	英語B	1 2 3 4	前	週1回		1	教職・保育	小林(2)、橋本(2)	小谷
		SB23	英語C	1 2 3 4	後	週1回		1		奥村(玲)(2)、安川、三上	三上
		SB24	英語D	1 2 3 4	後	週1回		1		小林(2)、橋本(2)	松浦(芳)
		SB25	英語E	2 3 4	前	週1回		1			三村、杉原、奥村(玲)(2)
		SB26	英語F	2 3 4	前	週1回		1			門口(2)、松浦(芳)(2)
		SB27	英語G	2 3 4	後	週1回		1			三上、松浦(芳)、奥村(玲)(2)
		SB28	英語H	2 3 4	後	週1回		1			門口(2)、松浦(芳)(2)
		SB05	フランス語Ⅰ	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		脇・藤本(前1・後1)	藤本(前1)
		SB06	フランス語Ⅱ	1 2 3 4	後	週2回		2		脇・藤本	藤本
		SB09	中国語Ⅰ	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		王・樋口(前1)、川端・洪(前1)、大西・洪(後1)、川端・康(後1)	大西・康(前1)
		SB10	中国語Ⅱ	1 2 3 4	後	週2回		2		大西・康	大西・王
		SB13	ハンガールⅠ	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		黄・平井(前2・後1)、林・巖(後1)	黄・周(前1)
		SB14	ハンガールⅡ	1 2 3 4	後	週2回		2		黄・平井	黄・周
		SB17	スペイン語Ⅰ	1 2 3 4	前又は後	週2回		2		ソナン・寺本(前1・後1)	寺本・ソナン(前1)
		SB18	スペイン語Ⅱ	1 2 3 4	後	週2回		2		ソナン	寺本・ソナン

データサイエンス・リテラシープログラム（取組概要）

目的

近年のIT技術の進歩に伴い、社会ではこれまでと比較にならない量のデータが蓄積され、誰もがアクセスできる環境が整いつつある。こうした「ビッグデータ」を活用・分析し、有用な知見を得る営みである「データサイエンス」について、数学的な詳細にこだわることなくその本質を理解し、重要性や将来性、おもしろさを理解することを目的とする。

学修成果

- 身の回りにあるデータやAI(人工知能)の利用例を知り、データサイエンスのおもしろさを実感する。
- 社会に出た際、自らデータを分析したり、AIツールを活用したりする能力を身につける。
- 社会における様々な応用事例を知り、データ活用の際の倫理面およびセキュリティ面における重要性を理解する。

修了要件

統計・情報E（データサイエンス入門）（2単位）の単位修得【全学部対象】

プログラム内容

- データサイエンスの概要を知り、コンピュータやインターネットなどの歴史からデジタル社会の現状を理解する。
- ビッグデータやディープラーニングと言った専門用語について学ぶとともに、データサイエンスやAI(人工知能)の最新動向を知ることで、どこでどのような技術が使われてるかを理解する。
- 統計学の基礎を学び、平均値、中央値、分散と標準偏差、散布図といったデータの可視化方法を学ぶとともに、それらを利用する上で留意すべきこと、利用する際に必要となる倫理感や管理責任、アルゴリズムの公平性などについて理解する。